

# 風水害 への備え



防災危機管理室☎224-5554☎225-2895

台風や集中豪雨で、河川の氾濫などの災害が発生することがあります。

日ごろから風水害への知識を身に付け、「自らの命は自らが守る」意識のもと、適切な避難行動が取れるように備えることが大切です。

## 5月29日(金)から 防災気象情報 が新しくなりました!

新たな防災気象情報では、河川氾濫・大雨・土砂災害の警報などを、避難行動に対応した5段階の警戒レベルと整合させ、災害発生の危険度に応じたレベルの数字を名称に含めて発表されます。

警戒レベル5に相当する河川氾濫の特別警報や警戒レベル4に相当する危険警報も新たに開始するなど、現行の大雨警報・注意報などが大きく変わります。

レベル3警報やレベル4危険警報が発表されたら、市からの避難指示等に十分注意してください。大雨で危険度が高まった地域が地図で表示される気象庁の「キキクル」や河川の水位情報を参照して、危険な場所にいる場合は早めの避難を心掛けましょう。



気象庁

### ポイント!

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付く
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わる(特別警報の新設など)
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表

チェック

### 警戒レベル一覧表は今回の広報裏表紙に掲載しています

\*全国で統一された配色に基づき表示し、警戒レベルを分かりやすく伝えます。裏表紙のカラーページを確認してください。

## 避難先について



1013361 ID

### ◆指定避難所が増えました

- 中央公民館(三久保町18-3)
- 北公民館(氷川町107)
- 南公民館(新宿町1丁目17-17ウェスタ川越1階)
- 芳野市民センター(北田島119-2)
- 古谷市民センター(古谷上3830-2)
- 南古谷市民センター(今泉371-1)
- 高階市民センター(藤間27-1)
- 高階南公民館(藤原町23-7)
- 福原市民センター(今福481-3)
- 大東市民センター(豊田本5丁目16-1)
- 大東南公民館(南台3丁目4-3)
- 霞ヶ関市民センター(笠幡177-1)
- 霞ヶ関西公民館(笠幡3001-12)
- 川鶴市民センター(川鶴2丁目8-3)
- 霞ヶ関北市民センター(霞ヶ関北6丁目30-2)
- 伊勢原公民館(伊勢原町5丁目1-1)
- 名細市民センター(小堤662-1)
- 山田市民センター(山田161-7)

### ◆分散避難の検討

避難先は、避難所だけではなくありません。安全な親戚・知人宅などに避難することも検討してください。

### ◆ペットの同行避難

市が開設するすべての避難所でペットを連れた避難者を受け入れています。

避難する場合には必ずケージ等に入れ、ペット用の食料、リード、トイレ用品など飼育に必要なものを持参してください。

1001572 ID

ペットの  
同行避難

1007185 ID

人とペットの  
災害対策

# 風水害から身を守る 3つのポイント

ポイント 1  
事前の確認

ポイント 2  
情報の入手

ポイント 3  
早めの避難

## 1 事前の確認

### ハザードマップの確認

1001576 (ID)

#### ◆早期の立ち退き避難が必要な区域の確認

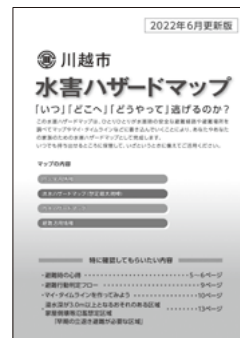
水害ハザードマップには、浸水が想定されている区域や水害時の危険箇所が掲載されています。特に浸水深が3m以上の「浸水想定区域」や「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、早期の立ち退き避難が必要な区域のため、必ず確認してください。

#### ◆水害ハザードマップの配布

市報の「小江戸川越マップ」で水害ハザードマップの情報を確認できます。また、河川課(小仙波庁舎2階)・防災危機管理室(本庁舎4階)・事業計画課(上下水道局2階)・市民センター等でも配布しています。詳しくは、河川課☎224-6041 ☎224-8804にお尋ねください。

#### ◆5月1日(金)から「耳で聴くハザードマップ」の運用を開始

視覚に障害のある方等が円滑に避難行動できるよう、スマートフォン等を利用して、本市の水害ハザードマップの情報を音声で聴くことができる運用を開始しました。



### マイ・タイムラインの作成

1001553 (ID)

マイ・タイムラインは、これから起こるかもしれない水害等に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせた自分自身の避難計画です。あらかじめ時系列に沿って「いつ」「誰が」「何をするか」を決めることで、いざというときに慌てず、安全な避難への手助けになります。マイタイムラインを作成し、自分自身の行動を確認しておきましょう。

### 土のうステーションの確認

1001554 (ID)

浸水への応急対策として、土のうステーション(簡易土のう置き場)を、寺尾地区など市内19箇所に設置しています。土のうは1袋15kg程度で、各場所に約70袋あります。必要に応じてお持ちください。なお、使用した土のうは返却できませんので、適切に処分してください。



## 2 情報の入手

### 情報の確認

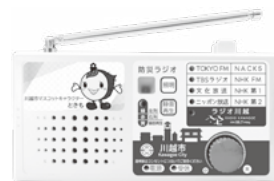
1001581 (ID)

市では、災害が発生し、または発生する恐れがあるときに、防災気象情報を踏まえ、避難情報等をさまざまな手段で市民の皆さんへお知らせしています。

#### ◆主な情報入手手段

- 防災行政無線
- 市公式ホームページ
- 市公式SNS(X、フェイスブック、LINE)
- 登録制の市防災情報メール
- 緊急速報メール
- テレビやラジオなど

防災ラジオを低額販売中!



## 3 早めの避難

正しい情報を入手し、避難のタイミングを逃さない

